

(12) Japanese Laid-Open Utility-Model Publication (U)
(11) Publication Number: 4-133951
(19) Japanese Patent Office (JP)
(43) Publication Date: December 14, 1992
(51) Int. Cl.⁵
 B60R 7/04
 B60N 3/10
(21) Application Number: 3-41702
(22) Application Date: June 4, 1991
(71) Applicant: NISSAN JIDOSHA KABUSHIKI KAISHA
2, Takara-cho, Kanagawa-ku Yokohama-shi, Kanagawa-ken
(72) Creator: Minoru MATANO
c/o NISSAN JIDOSHA KABUSHIKI KAISHA
2, Takara-cho, Kanagawa-ku Yokohama-shi, Kanagawa-ken
(74) Agent: Patent Attorney, Takeshi TAKATSUKI

(54) [Title of the Invention] Console Box

(57) [Abstract]

[Objective]

To provide a console box having a lid that is capable of being substantially entirely opened and functions as a cup holder.

[Configuration]

The upper edge of an opening formed in a console box main body is curved upward with respect to the lateral direction. Accordingly, a lid is also curved upward with respect to the lateral direction and is slidable in the lateral direction. A cup holding notch is formed in a lateral end of the lid. Therefore, when the lid is slid in a direction opposite from the cup holding notch, the notch is exposed and the lid functions as a cup holder. Also, the upper edge of an opening formed in a console box main body and a lid are curved upward in the lateral direction, and the lid is slidable frontward and rearward.. The lid has a small opening and a small lid.

When the lid is fully opened, the small lid is slidably in the lateral direction. A cup holding notch is formed in a lateral end of the small lid.

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平4-133951

(43) 公開日 平成4年(1992)12月14日

(51) Int.Cl.⁵

B 60 R 7/01
B 60 N 3/10

識別記号 庁内整理番号
C 7149-3D
A 8915-3K

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数2(全4頁)

(21) 出願番号 実願平3-41702

(22) 出願日 平成3年(1991)6月4日

(71) 出願人 000003997

日産自動車株式会社

神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地

(72) 考案者 溝多野 稔

神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地日産自動車株式会社内

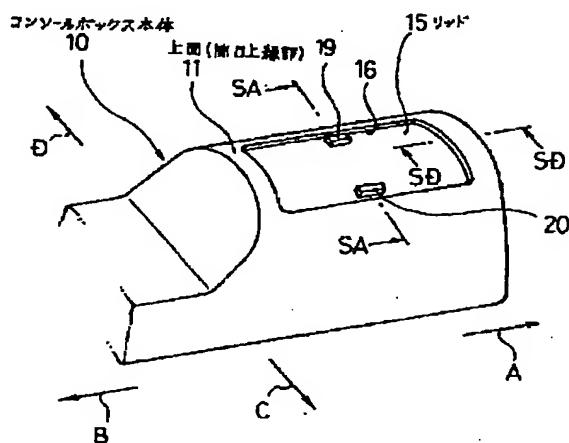
(74) 代理人 弁理士 高月 猛

(54) 【考案の名称】 コンソールボックス

(57) 【要約】

【目的】 リッドの略全面にわたって開閉可能でき、且つカップホルダとしても使用して有効利用を図ることのできるコンソールボックスを提供する。

【構成】 コンソールボックス本体の開口上縁部を左右方向で上に凸に湾曲させ、これに相応してリッドも左右方向で上に凸に湾曲させて左右方向にスライド自在とする。そして、リッドの左右一方側の端部にはカップ類保持用の切欠きを設けたので、リッドを他方側へスライドさせれば切欠きが露出してカップホルダとして使用できる。また、コンソールボックス本体の開口上縁部及びリッドを左右方向で上に凸に湾曲させると共に前後方向にスライド自在とし、リッドに小開口及び小リッドを設け、リッドの全開時に該小リッドを左右にスライド自在に設けた。そして、小リッドの一方側の端部にはカップ類保持用の切欠きを設けた。



1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】コンソールボックス本体の開口上縁部を左右方向で上に凸状態に湾曲させ、前記開口上縁部に相応して湾曲したリッドを該開口上縁部下面に沿って左右両方向にスライド自在に設けると共に、前記リッドの左右一方側の端部にカップ類保持用の切欠きを設けたことを特徴とするコンソールボックス。

【請求項2】コンソールボックス本体の開口上縁部を左右方向で上に凸状態に湾曲させ、前記開口上縁部に相応して湾曲したリッドを該開口上縁部に沿って前後方向にスライド自在に設けると共に、該リッドに小開口を設け、前記小開口を開閉する小リッドを前記リッドに相応して湾曲形成すると共に、該小リッドの左右一方側の端部にカップ類保持用の切欠きを設け、前記リッドが全開の時に、前記小リッドを左右方向にスライド自在となるように設け、且つ該小リッド全開時に前記リッドの他方側の端部から該小リッドが突出して前記リッドの下方に回り込むようにしたことを特徴とするコンソールボックス。

【図面の簡単な説明】

【図1】本考案に係るコンソールボックスのリッドを左右にスライド自在とした第一実施例を示す斜視図である。

【図2】リッドを右側にスライドさせて開口を開けた状態を示す斜視図である。

10

【図3】リッドを左側にスライドさせてカップホルダとして使用している状態を示す斜視図である。

【図4】(A)は図1中SA-SA線に沿った断面図である。

(B)は図2中SB-SB線に沿った断面図である。

(C)は図3中SC-SC線に沿った断面図である。

【図5】図1中SD-SD線に沿った断面図である。

【図6】本考案に係るコンソールボックスのリッドを前後にスライド自在とした第二実施例を示す斜視図である。

【図7】図6中SE-SE線に沿った断面図である。

【図8】図6中SF-SF線に沿った断面図である。

【図9】従来におけるコンソールボックスを示す斜視図である。

【符号の説明】

10、21…コンソールボックス本体

11、22…上面(開口上縁部)

15、26…リッド

17、29…カップ類

18、30…切欠き

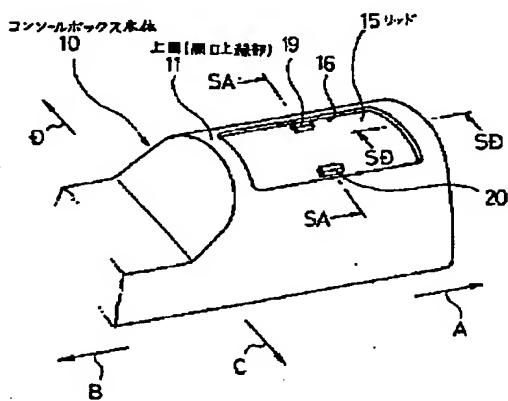
28…小リッド

27…小開口

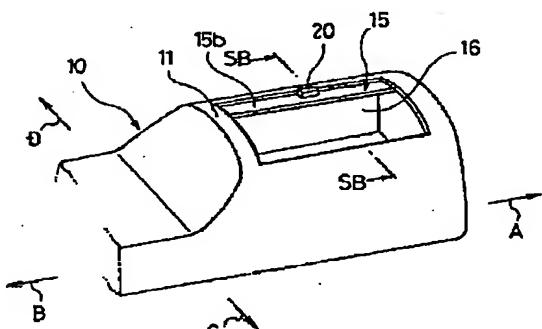
28a…右側端部(一方側の端部)

28b…左側端部(他方側の端部)

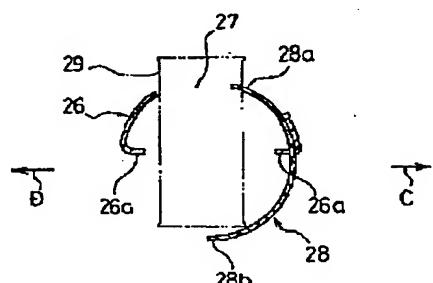
【図1】



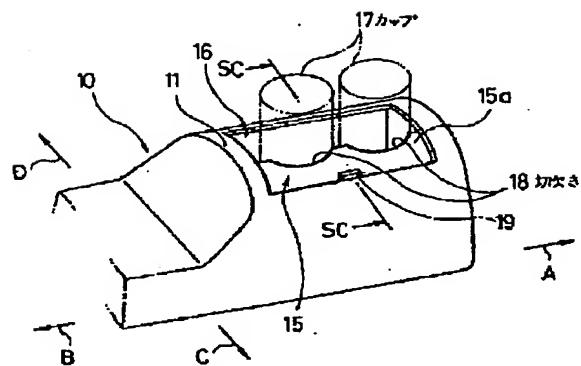
【図2】



【図8】

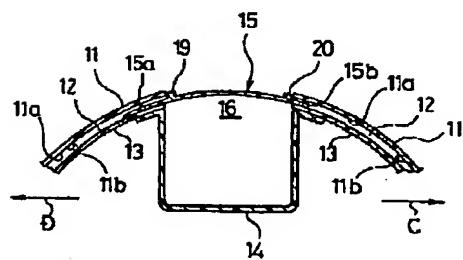


【図3】

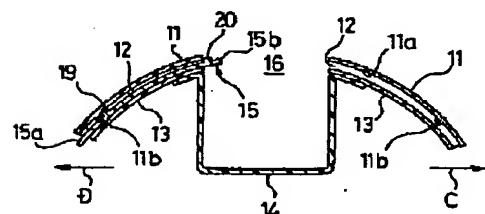


(A)

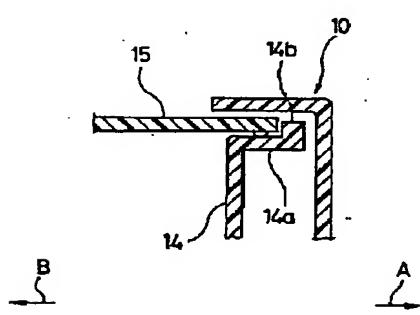
【図4】



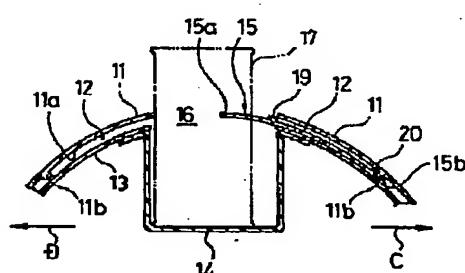
(B)



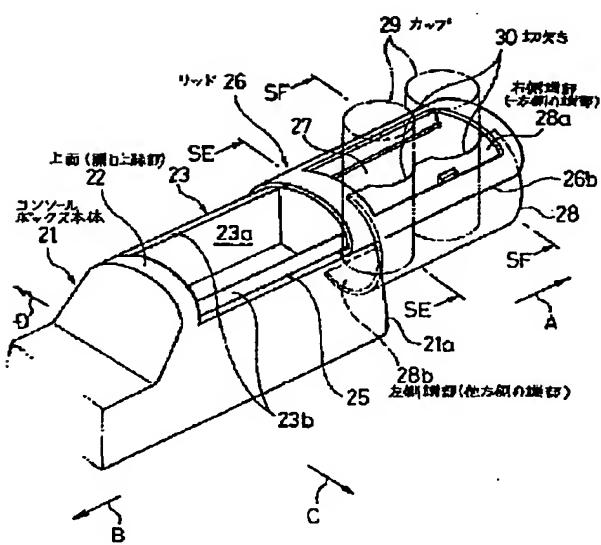
【図5】



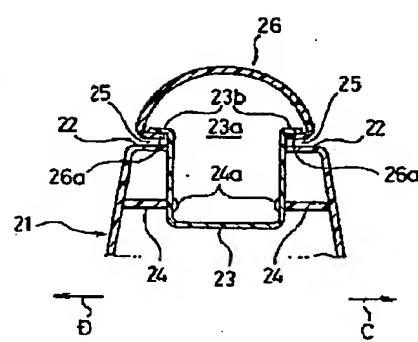
(C)



【図6】



【図7】



(4)

実開平4-133951

【図9】

